

ヒメアオキ

(学名: *Aucuba japonica var. borealis*)

[ガリア科 アオキ属]



▲「雄花」雪解けの頃に花を咲かせる



▲4月～5月頃に赤い果実が見られます

3月になり、次第に暖かくなってきましたが、山はまだ深い雪で覆われています。この雪の下にヒメアオキは埋もれています。ヒメアオキは、只見町のブナ林の林床によく見られる常緑低木です。一年中、光沢のある青々とした葉を繁らせ、また、若い枝の緑色の様子が名前の由来になっています。雪解けの頃、森の中を歩いていると、ヒメアオキの赤く丸い実に気づくことがあるかもしれません。果実は目立つのですが、それと同時期に見られる花は暗紫色の地味な花です。

日本には、冬に雪が少なく、乾燥した太平洋側に分布する「アオキ」と、積雪量の多い日本海側に分布するその変種「ヒメアオキ」が生育しています。アオキは直立し、樹高2～3mになるのに対して、ヒメアオキは1mほどとひとまわり小さいです。ヒメアオキの幹の根本は地面を這い、それよりも上の部分は斜めに伸びます。そして冬の間は雪で地面に押しつぶされて春を待ちます。ヒメアオキのように日本海側の多雪地帯を中心に分布する植物を日本海要素植物と呼びます。只見町には、ヒメアオキをはじめとし、ユキツバキ、ミヤマナラ、エゾユズリハなどの日本海要素植物が数多く生育しています。

写真教室

猪又かじ子写真教室

「只見の雪を記録しよう～写真による自然観察会」

日 時：3月4日(土) 9:00～14:00

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム周辺

観察会

「冬のブナ林で野鳥を探そう！」

日 時：3月19日(日) 10:00～12:00

場 所：ただみ観察の森 楳戸のブナ二次林 ※参加には申し込みが必要です。

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

雪まつり大雪像のキャンドルナイト

雪まつり開催から1週間後の2月18日、雪まつりの大雪像をキャンドルで彩る「キャンドルナイト」が行われました。イベントでは、参加者により午後3時頃から大雪像に多くのキャンドルが設置され、夕暮れとともにキャンドルに灯された幻想的な熊本城の姿が現れ、会場では写真を収める姿が多く見られました。

